

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 相可高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○生徒の夢をかなえる学校 ○地域と共に歩む学校 ○教職員がやりがいを実感し互いに高めあう学校
	育みたい 児童生徒像	○夢の実現を目指して自律的にかつ誠実に学び続けることができる生徒 ○変化や困難に対して柔軟にかつたくましく対応することができる力を有する生徒
(2)	ありたい 教職員像	○生徒の学力向上に努めるとともに、生徒の人権・健康・安全を守ることができる教職員 ○同僚性を発揮するとともに、互いに支えあうことができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	生徒、保護者、地域社会 ○学習指導・生徒指導・進路指導、部活動指導の充実 ○地域活性化への貢献 ○卓越した取組とその成果の継承学習指導・生徒指導・進路指導・部活動指導の充実	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	生徒：わかる授業、学力の定着・向上、部活動の充実、希望進路の実現、安心して学べる環境 保護者：学習指導・生徒指導・進路指導の充実 地域社会：地域活性化への貢献 関係企業・団体等：話題性によるイメージの向上	保護者：学校教育への理解・協力・支援、家庭での指導 地域社会・企業等：教育活動への理解・協力・支援、学習成果を発表・活用する機会の提供、部活動指導等への支援（地域部活動の設置）

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<p>○学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちの家庭学習を増やすために、教員が何を指示、提示できたかを総括できるとよい。例えば、単に宿題を増やすということではなく、今日の授業から次の授業までに行う家庭での学習内容について、授業時間内に生徒たちにどう伝えるかなど。</li> <li>・学習活動は学校教育活動の核となる部分である。取組の結果で生徒の学習姿勢にどのような変容があったか、教員のどのような取組で効果があったのか等も具体的に検証するとよい。</li> <li>・公開授業の成果を入れてもらうとよい。</li> </ul> <p>○進路指導</p> <p>普通科のキャリア教育は前年度の課題になっている。他校とは異なり、職業学科を併設する「相可高校」普通科の特色を、生徒募集の段階からPRし、入学後のキャリア教育に繋げていくことができればよいと考える。</p> <p>○社会性の伸長</p> <p>いじめアンケートの回収率がもう少し上がるとよいと思う。</p> <p>○専門教育</p> <p>教員の専門性を育成するという課題の結果はどうなっているのか。勤務時間の縮減が思うように実現できないことや、予算の削減という厳しい実情の中で、難しいとは思いますが、必要なことだと思う。</p> <p>○情報発信</p> <p>様々な取組の結果、昨年度より入学志願者数がずいぶん増えてよかった。</p> <p>○働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を地域移行化できるとよいが、現行では働き方改革は難しいと思う。</li> <li>・部活動の地域移行について、まごの店で活動する調理部を地域の指導者がフォローできれば、モデルケースになる可能性がある。民間が受け入れてくれるように今後も多気町として支援していきたい。</li> <li>・中学校と高校では部活動に求められているものが違うと思う。部活動にもよるが、高校ではより強くなる、勝つことが求められている。しかし、強くなると入部を希望する生徒が減る傾向にある。生涯体育と考えた場合、高校から部活動を始めることが難しいのはどうかと思う。中学校では部活動に対する教職員の意識が変わってきている。生徒と顧問の健康を保つためにも部活動ガイドラインを守ろうと考えている。部活動と生徒の自主練習とを組み合わせることで確実に変化している。高校はどこまで部活動ガイドラインが守られているのか。</li> <li>・定時退校率が高い数値で驚いた。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校紹介DVDで「生徒と先生の距離が近い」との発言があった。先生との距離が近いことは生徒が安心できてよいと思う。この点は中学校へのアピールポイントなると思う。</li> <li>・「普通科」の目指すものが他学科に比べて明確でないことについて、普通科の先生方で話し合ってみてはいかがか。</li> </ul>
<p>(4) 現状と課題</p>	<p>○学習指導 家庭学習の時間が増えるよう習慣化させる必要がある。</p> <p>○生徒指導 令和4年度、問題行動件数が増加した。 いじめアンケートの回収率が低い。</p> <p>○進路指導 将来を見据えたキャリア教育のさらなる推進が求められる。</p> <p>○保健指導 美化・衛生意識を高める必要がある。</p> <p>○専門教育 学科間連携や、すべての学科で地域や外部との連携をすすめたい。</p> <p>○社会性の伸長 挨拶・返事・身だしなみへの意識を向上させる必要がある。</p> <p>○普通科改革</p> <p>地域密着型普通科として、他の進学校や私立高校との差別化が必要。中学生や在校生が、相可高校普通科に入ると何ができるのか、何ができるようになったのか、はっきりと理解できるようなPRも必要であると考えます。</p>

	<p style="text-align: center;">学校 運営等</p>	<p>○働き方改革と部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は年間休暇取得日数が減少し、時間外労働も増えた。ワークライフバランスを意識した職場集団作りをすすめなければならない。</li> <li>・部活動ガイドラインを守ったうえで、外部指導者の活用や顧問の複数配置により過重労働時間の削減を目指す必要がある。部活動の地域移行については引き続き多気町と相談しながら方法を模索していく。特に「まごの店」の運営は、部活動として行っているものの、教育課程の延長線上に位置づけられる部活動であることから、学科の取組との関係性も深い。活動内容について、日程や内容等、日常の授業と調整しながら活動をすすめることで、過重労働の軽減につなげたい。</li> </ul> <p>○教職員の資質能力向上と信頼される学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかりやすい授業」を実施するため、授業力の向上が求められる。そのための取組の一つとして現在実施している授業公開週間における互見授業の効果的な実施が求められる。</li> <li>・教職員が探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技術（技能）を学び続けられるよう、充実した研修の機会の確保に努める。その一方で時間的な負担が増加しないよう、研修の実施方法も検討する必要がある。</li> </ul>
--	---	--

### 3 中長期的な重点目標

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育活動</p>	<p>○「夢の実現を目指して自律的にかつ誠実に学び続けることができる生徒」に関して 生徒が学ぶことに興味・関心を持ち、自分の将来と結びつけて学習に取り組む「主体的な学び」、生徒が他の生徒や教職員、地域や世界の人々と対話をしながら、自分の考えを広げ深める「対話的な学び」、各教科等で得た知識や考え方を活用して課題解決等に向けて探究する「深い学び」の視点で、「どのように学ぶか」という学びの質を重視した教育に取り組む。</p> <p>○「変化や困難に対して柔軟にかつたくましく対応することができる力を有する生徒」に関して 各学科がそれぞれあるいは相互に連携を図りながら、また生徒が地域の方々や職業人など多様な人々と関わりながら、地域の産業や行政と協力し、地域の活性化や課題解決に取り組む本校ならではの、実社会と繋がった特色ある学習活動を拡充する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校運営等</p>	<p>○「教職員がやりがいを実感し互いに高めあう学校」に関して 授業・分掌業務・部活動指導等について、同僚性を発揮するとともに、協力・協同して取り組む体制が確立するなど、教育活動や学校運営を継続的に改善するための仕組みが機能し、活気のある明るい組織風土が醸成され、多くの生徒・保護者・職員が学校に満足している。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して各教科等における資質・能力を確実に育成します。また、必要な図書館資料等を提供します。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部署、教科・学科と定期的に連絡・意見交換を図り、取り組み内容や様子を共有する。</li> <li>年度末実施のスタディーサポート、基礎力診断テストにおいて、80%以上の生徒が教科計 GTZ（学力）でC以上となる。</li> <li>保護者、地域の中・高教員を対象とした授業公開を実施し、学校の教育内容を知ってもらう。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒実態調査で「各教科の授業が分かりやすいか」を問う質問にて肯定的回答が80%以上</li> <li>平日の家庭での学習時間が昨年度の数値（40.2分）よりも5分増加する</li> <li>図書館の貸出利用率60%（昨年度は54.2%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタディーサポート(普通科)は3月中旬に実施予定</li> <li>基礎力診断テスト(専門科)</li> <li>1年 75/118 63.6%</li> <li>2年 40/103 38.8%</li> <li>平日の家庭での学習時間 33分</li> </ul> <p>現時点で目標を大きく下回っており、特にD3の義務教育範囲の知識習得に問題を抱えている生徒(1年11人,2年14人)が増加している。また、平日の家庭での学習時間が昨年の数値(40.2分)よりも7.2分減少している。クラス間で大きな差があり、それぞれに合った指導を考察し、集中して学習に向かえるよう生活習慣の見直しから始める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「各教科の授業が分かりやすいか」を問う質問にて、肯定的回答が67%、否定的回答が11%</li> <li>否定的回答は少ないものの研修などを通して授業改善を実施し、肯定的回答を増加させていく必要がある。</li> <li>図書館の貸し出し利用率は67%であり、昨年度の54.2%を大きく上回った。</li> </ul>	◎
生活指導 (生徒指導)	<p>(生徒指導)</p> <p>○基本的生活習慣の形成と規範意識・公共心を育む指導・支援を行います。</p> <p>○非行やいじめなど問題行動の未然防止と早期発見の取り組みを行います。</p> <p>○通学マナーや交通ルールを守る意識及び態度を向上させ、交通事故防止を図る取り組みを行います。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導や身だしなみ指導を兼ねた朝の挨拶運動を月3回以上と実施するとともに、学期に1回以上強化週間を設定、遅刻防止と挨拶の習慣化等を図る。</li> <li>遅刻生徒の人数を把握し、各学期5回以上となった生徒には、事情の確認と保護者との連携を行い生活習慣の改善に努める。</li> </ul>	<p>・4月は全ての授業日で職員を5人ずつ、5月以降は月に2~3回2名ずつ割当て、8時~8時25分の間、近隣の交差点や正門で、交通安全・身だしなみを整える・自発的な挨拶の習慣化をめざした声かけ運動を実施。また強化週間を2学期2回、3学期1回実施。</p> <p>結果、生徒の振り返りアンケートでは「気持ちの良い挨拶ができた、どちらかといえばできた」と答えた生徒が回答した生徒の99.2%。</p>	

<p>(生徒会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の場におけるマナーやルールについて共通認識を図るため、HR 連絡を毎月 2 回以上発行する。</li> <li>・関係機関の講演会などを各学期 1 回以上実施し、交通事故や問題行動の未然防止に努める。</li> <li>・各学年で年間 2 回以上いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止や早期発見に務める。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が関係する交通事故の件数昨年度以下（12 件）</li> <li>・正当な理由無く 5 回以上遅刻した生徒の人数各学期 5 人以下。指導した生徒が遅刻改善 100%（次学期の遅刻数 5 回以下）</li> <li>・問題行動の件数昨年度以下（29 件）</li> <li>・いじめアンケートの回答率 80%以上</li> </ul> <p>(生徒会)</p> <p>○行事について、生徒が考え、行動し、自分たちで作ることができるようにします。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭、文化祭、クラスマッチなどの学校行事に向けて週 1 回の生徒会執行委員での話し合いの時間を持ち、規律を守りながらも生徒が楽しめる企画を考え取り組む。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会執行委員会への役員出席率 80%以上</li> <li>・各行事の生徒満足度 90%以上</li> </ul>	<p>「身だしなみについて気をつけてできた、どちらかといえばできた」と答えた生徒が回答した生徒の 94.1%。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HR 連絡を 34 回発行し、ルールの徹底・交通安全・持ち物の管理について等注意喚起を行った。</li> </ul> <p>結果、自転車事故が 10 件で昨年度の 12 件をわずかに下回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正当な理由無く遅刻 5 回以上の生徒 1 学期 6 名・2 学期 5 名・3 学期 1 名。前述生徒計 12 名の内、次学期も 5 回以上遅刻した生徒 5 名。遅刻改善率は 58.3%。特定の生徒が遅刻を繰り返す傾向が認めない。</li> <li>・問題行動の件数 16 件。昨年度を 13 件下回ったものの、昨年度 0 件だった校内での金銭盗難が 10 件と激増(10 件全て未解決)。</li> <li>・1・2 学期全学年対象にいじめアンケートを実施。回答率 1 学期 47.8%、2 学期 25.4%。</li> <li>3 学期は 1・2 年生対象にて実施。回答率 29.1%。</li> <li>・11 月いじめ防止キャンペーンを校外 3 か所の商業施設で 3 週に渡り実施。生徒会・人権委員・有志生徒がキャンペーンに参加し、いじめ根絶を訴えた。</li> <li>・全学年を対象に 1 学期「交通安全講習」「薬物乱用防止講話」、2 学期「ネットトラブル防止講話」「生命の安全教育」を実施。</li> </ul> <p>・体育祭については、昨年と違う競技は話し合いの結果、安全な競技を考えて三人四脚リレーと大玉運びを新しい競技とした。文化祭については、学科紹介のブースの管理や備品の貸し出し、回収そのほかに中庭のフォトブースの装飾、ステージ発表の運営を行った。クラスマッチについては、体育祭で行えなかった綱引きを前期のクラスマッチにとりいれた。後期では、オセロに代わってトランプ(ババ抜き)を採用した。</p>
--------------	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会執行委員会への役員出席率 95%</li> <li>・各行事の生徒満足度 <ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭 99%</li> <li>文化祭 97%</li> <li>クラスマッチ 94%</li> </ul> </li> </ul>	
<p>進路指導</p>	<p>○3年生全員の進路希望実現を目指します。</p> <p>○生徒の主体性を涵養し、生徒自身が能動的に進路実現を果たせるよう、3年間を通じたキャリア教育の充実を図ります。</p> <p>○保護者への進路情報発信に務めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査に基づいた生徒が希望する企業との情報交換100%</li> <li>・入試情報の収集と共有</li> <li>・就職講話、総合型選抜・学校推薦型選抜対策講座の実施年2回</li> <li>・総合的な探究の時間、LHR等を活用した進路指導の実施年1回以上</li> <li>・進路ガイダンスの実施。(出前授業年2回以上、進路ガイダンス各学年1回以上、看護医療ガイダンス年1回)</li> <li>・1,2学年普通科の全員模試：年2回以上</li> <li>・1,2学年専門科の全員模試：年2回以上</li> <li>・スタディサプリ希望者の活用(普通科)</li> <li>・進路だより等での情報発信：各学期1回以上</li> <li>・総務部や学科と連携した保護者会の実施、参加学科保護者会への参加：1回以上</li> <li>・保護者向けの進路情報の発信</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生全員の希望進路実現</li> <li>・5年後10年後20年後の自分の姿を意識していると回答する生徒の割合が学年進行で上昇</li> <li>・希望進路実現のための流れが理解できたとする保護者の割合70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の希望する企業との情報交換は100%行えた。学校斡旋を希望した就職希望者全員の内定が得られるなど、順調に生徒の進路希望を実現することができた。</li> <li>・推薦入試における面接指導、出願指導などを行った。12月からは共通テスト対策講座を開講し、引き続き一般選抜で受験していく生徒の希望進路実現に向け支援を続けた。</li> <li>・地元の大学、短大との出前授業、看護医療ガイダンス、歯科インターシップ、各学年との進路ガイダンスを通し、生徒の進学への意識を高めた。実力テストを実施し、英・数・国の基礎学力の充実に力を入れた。また進路講話で外部講師による講話で、進路全般における知識を深めた。</li> <li>・12月には、3学年と教科担当とで進学受験指導について検討をした。</li> <li>・普通科3年生において、面接や小論文対策にスタディサプリを活用した。</li> <li>・情報発信について、必要に応じクラスに発信をした。</li> <li>・5年後10年後20年後の自分の姿を意識していると回答した生徒の割合は、1年65.9%、2年76.1%、3年83.5%と上昇している。</li> <li>・保護者に対して、3学年では5月の保護者会で就職進学についての説明を行った。特に保護者の関心が高い、進学にかかる費用や奨学金などの進学マネープラン講演を行った。</li> </ul>	

<p>保健指導</p>	<p>○健康上の課題を自己認識し、生涯にわたってより健康的な生活を送るための実践力を身につけるよう、適切な援助や啓発を行ない、学習の機会を提供します。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりを発行し、正しい知識の周知や生活習慣の改善を図る。</li> <li>・学期毎のカウンセラーだより発行を通じて、校内の教育相談体制の周知と、ヘルスカウンセリングの充実に努める。</li> <li>・各学期初めと終わりの大掃除を実施し、毎日の掃除でのゴミ分別の指導を通じて、美化・衛生意識の向上と校内美化環境の維持・改善に努める。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を心がけ、正しい知識が身についたと回答する生徒 70%以上</li> <li>・定期的な保健だよりと学期毎のカウンセラーだよりの発行</li> <li>・ゴミ分別の正しい知識の習得、実施 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を心がけ、正しい知識が身についたと回答した生徒は90%でしたが、保健室で個々に対応する生徒の生活を聞いていると、深夜までスマートフォンを利用し、睡眠時間が不十分である、朝食を食べていない、体調が悪くても無理をして登校するなど、実践できていない部分があった。今後も継続して呼びかけていきたい。</li> <li>・ごみの分別に関しては95%の生徒が正しい知識が身につき、正しく分別できたと回答したが、分別が十分でないことが数回あり、意識を高く持ち続けられるよう、継続して啓発を行いたい。</li> </ul>	
<p>人権教育</p>	<p>○自己的人権と他人の人権を守るための知識と行動力を持つ生徒の育成に努めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権サークルによる校外人権サークル交流会の参加 5 回以上</li> <li>・人権LHRの実施 3 回</li> <li>・人権フィールドワークの実施 1 回</li> <li>・人権委員による文化祭企画の実施</li> <li>・人権講演会の実施 1 回</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権サークル交流会のアンケートにおいて「学びがあった」の回答が 90%以上</li> <li>・フィールドワーク参加者のアンケートにおいて「学びがあった」の回答が 90%以上</li> <li>・人権委員による文化祭企画の実施</li> <li>・卒業アンケート時の人権学習に取り組む姿勢について「積極的だった」の回答が 90%以上</li> <li>・卒業アンケート時の差別的な場面に出会ったときの「何もしなかった」の回答について、前年度 100%から 80%以下への減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権サークルによる交流会やフェスタへの参加は 7 回あった。参加生徒の 100%が「参加してよかった」「学びがあった」と回答しており、「他校との交流により考えが広がり多くの視点を持つことができた。」などの意見があった。</li> <li>・人権フィールドワークでは参加生徒の 100%が「参加してよかった」「学びがあった」と回答した。ウトロ平和祈念館での学びが、人権委員会での文化祭展示や人権サークルでの「人権学びの発表会」での発表につながり、活動の幅が広がる結果となった。</li> <li>・卒業アンケートにおいて、積極的に人権学習に取り組んだ生徒は 95%だった。差別的な場面に出会った時に何もしなかった生徒は 50%であり、その場で指摘ができなくても、後から指摘をしたり他の人に伝えたりする行動にうつせたようである。今後も引き続き、人権を守るための知識と行動力を持つ生徒の育成を目指し、取り組んでいく。</li> </ul>	

<p>普通科</p>	<p>○本校普通科の方向性と求める生徒像を明確化し、職員はもとより、中学校(生徒、保護者および教員)、地域と共有します。 ○松阪地区内の他の普通科高校との差別化を図るため、カリキュラムや総合的な探究の時間(DCT)を見直します。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に対して普通科の特色や進路実績をPRする機会(中学校訪問、高校生活入門講座など)を年3回以上設ける。</li> <li>・上記取り組みを推進するため、校内組織として新たに普通科改革チームを設け、2か月に1回以上の普通科小会議を設定する。構成員は、管理職、普通科代表、学年主任、分掌主任を中心とし、5教科および体育科教員を加える。</li> <li>・普通科会議を年2回以上開催し、今後の普通科のあり方について決定する。</li> <li>・総合的な探究の時間(DCT)において、校外活動を生徒1人当たり年1回以上設定する。</li> <li>・多様な視点から探究活動に取り組めるよう、1学年において学科横断型の探究活動を実践する。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期選抜における普通科志望者が定員に対して100%以上</li> <li>・総合的な探究の時間において、年度末の振り返りアンケートで「何事にも主体的に取り組む力が身についた」と答える生徒が80%以上</li> <li>・全ての普通科教員が、本校普通科の魅力を言語化できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に対して、5月・7月・11月に訪問し、本校普通科の魅力をPRした。高校生活入門講座では体験授業に加え、普通科の取り組みを参加生徒に伝えた。結果的に前期選抜・後期選抜ともに受験者数は募集人数を上回った(前期3.46倍/後期1.13倍)。近年としては非常に高い倍率となっている。</li> <li>・普通科改革チームによる普通科小会議を年8回行った。科としての方針を明確化し、現状と課題を共有することで、普通科改革が求められる現在、本校普通科がどう変化していくのかを検討することができた。</li> <li>・総合的な探究の時間(DCT)において、フィールドワーク(校外での研修)を1年生は4時間、2年生は2時間行った。地域に愛着を持つきっかけとなった。</li> <li>・1学年の総合的な探究の時間(DCT)では、一つのチームにすべての学科の生徒が集まり、各科の特性を掛け合わせた本校ならではの発表をすることができた。</li> </ul>	<p>◎</p>
<p>専門教育</p>	<p>○資格取得や各種大会・発表会への出場を推進し、将来の進路に向けた学習意欲の向上を図ります。 ○他教科・他学科・地域との相互連携を図り、地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指します。 ○外部講師による生徒・職員向け研修会を実施し、専門性の向上を図ります。 ○日々進化する食産業の知識や技術、環境等に深い関心を持ち、校内外の研修の充実を図ります。(食物調理)</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格の丁寧な案内と補習等のサポート 積極的に農業クラブ活動や発表会に参加</li> <li>・他教科・他学科・地域との連携</li> <li>・専門の研修を受ける機会を設けて高度な知識・技術を身につける</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得者総数165人以上(生産経済) 農業クラブ競技会、発表会等で総数10以上の受賞(生産経済)</li> <li>・他教科・他学科・地域との連携の実施 年間3回</li> <li>・外部講師による生徒・職員の研修会の実施 年3回以上</li> </ul>	<p>(生産経済科)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①資格取得者総数171 目標達成</li> <li>②受賞総数8 未達成 意見発表県大会優秀賞2 プロジェクト発表県大会優秀賞2 SBP交流フェア輝賞 三井化学賞 うまいもん甲子園東海北陸大会優勝 産振作文優秀賞 産振研究会会長賞</li> <li>③高度化事業、外部教育力などの研修機会を利用して達成。</li> <li>④農業関連の進路3名未達成 畜産業(株式会社前川農場) 農業(うれし野アグリ株式会社 みえなか農業協同組合)</li> </ol>	

専門教育

(環境創造科)

- ・資格取得 測量士4名合格 測量士補37名合格 2級土木施工管理士補34名合格
- ・2Gで、三重県測量業協会による出前授業として、東海工業専門学校より、最新の測量技術についての講義を実施、資格取得に向けての意識を高めた。
- ・2Gが三重県建設業協会主催の現場見学会に参加し、実際の現場を見学することで自分たちの将来の仕事についての意識付けを行った。
- ・資格取得に向けた放課後補習の実施や、国家試験直前の取組などを行った。
- ・進路実現のための公務員補習や、環境創造科のスタッフ全員による面接指導など、職員一丸となって生徒たちの進路指導に取り組んだ。

(食物調理科)

- ・資格取得の推進、コンクールへの応募を行った。製菓衛生師国家資格は受験者 15 名全員が合格。応募したコンクールでは、ほとんどのコンクールにおいて入賞することができた。
- ・辻調理・製菓専門学校と連携し、1年生は学校訪問、2年生は本校に来ていただき、講習会を行った。また講習会には教員も参加し自身のレベルアップに繋げた。
- ・地域イベントにも積極的に参加した。(6回)
- ・生産経済科と連携し、コンクールへ参加。(全国大会出場)
- ・海外との交流も積極的に行った。(韓国研修、スペイン・ニューヨークへの研修)

<p>学年</p>	<p>(1年)</p> <p>○生徒自らの学びを高める学校時間の確保に努めます。</p> <p>○互いを尊重し、互いに成長する集団づくりに努めます。</p> <p>○人間力の育成に努めます。(挨拶・返事・身だしなみ)</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを実践につなげる。学びの記録を毎学期入力し結果を確認する。</li> <li>・一人一台端末の有効活用と問題点の抽出を行う。</li> <li>・学校行事を大切にし、互いの価値観を尊重する経験を増やします。</li> <li>・好感の持てる挨拶、返事、身だしなみを常に心がける。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとの学びの記録入力 100%</li> <li>・一人一台端末の利用で、「学習効果が向上したと感じる」割合 50%以上</li> <li>・「行事を頑張った」人の割合 80%以上、「人間関係を大切にしたい」人の割合 95%以上</li> <li>・生活面において、挨拶・返事・身だしなみが十分にできたかを確認する。「できた」人の割合 80%以上</li> </ul> <p>(2年)</p> <p>○生徒自らの進路を明確にして、進路希望を実現するための雰囲気作りと互いを高め合う学校時間の確保に努めます。</p> <p>○互いを尊重し、平和を愛する優しい気持ちを持った人間形成に努めます。</p> <p>○コミュニケーション能力を高め、協調性のある人間の育成に努めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの進路希望を明確化するため、進路講話、DCT、インターンシップ、面談、その他の教育活動全般を通じ、家庭・担任・進路と相談をしながら考える体制を構築する。</li> <li>・平和の大切さを再認識するため、修学旅行での平和学習を充実させる。</li> <li>・生徒との対話を中心に、挨拶、返事、身だしなみの大切さを呼びかけていく。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路講話やインターンシップ、その他学校の教育活動全般を通じ、自らの進路希望を明確にできたと思える生徒が 80%以上</li> <li>・修学旅行の平和学習を通じて、平和の大切さをあらためて認識できたと感じる生徒が 100%</li> <li>・挨拶や返事、身だしなみに関して気を付けてきたまたは以前から十分できていると自己評価できる生徒が 80%以上</li> </ul> <p>(3年)</p> <p>○進路希望に応じた自発的な学びの場を提供します。</p> <p>○社会に求められる力の育成に努めます。</p> <p>○人間力豊かな集団の育成に努めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望実現のため、必要な情報を適切に提供します。</li> <li>・スタディーサプリを活用し、個別の学びをサポートします。</li> <li>・学校行事を中心に「考え」「チームで動く」力を養います。</li> </ul>	<p>(1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの記録入力については学年末に全員提出に変更しほぼ達成できた。</li> <li>・一人一台端末の利用で、「学習効果が向上したと感じる」割合は 86%であった。</li> <li>・「行事を頑張った」人の割合は 90%以上、人間関係を大切にしたい人の割合は 98%を越えたものの、一部で人間関係を壊す言動が見られた。</li> <li>・生活面において、挨拶・返事・身だしなみが十分にできたかを確認する。「できた」人の割合は 90%を越えているものの、一部の生徒が制服を着崩しているのが気になった。</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の進路を意識している生徒 76%。今後進路意識の向上を図る必要がある。また主として普通科を対象にした希望者へのインターンシップも行ったが、希望者が 8 名と少なく、自己の進路実現に対する積極性の乏しさを感じた。</li> <li>・修学旅行を通じ平和の大切さを再認識できたと感じている。</li> <li>・挨拶ができたと答えた生徒 99%、返事ができたと答えた生徒 96%、身だしなみができたと答えた生徒 96%と回答があったが、女子生徒の服装の乱れや化粧など引き続き指導していく必要があると考えられる。</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・80%以上の生徒が進路実現のために学校は必要な情報を提供し相談に乗ってくれたと感じている。ほぼ 100%の生徒が満足のいく進路実現ができたことと回答していることから生徒とのこまやかな進路</li> </ul>
-----------	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルやセルフコントロールスキルが身につくよう、生徒との対話と見守りを大切にします。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現 100%</li> <li>・「高校での学びを上手く活用できた」とする生徒 80%以上</li> <li>・「相可高校で成長を実感できた」とする生徒 80%以上</li> </ul>	<p>指導が実現できていると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約 35%の生徒はスタディサプリを自発的に活用し個別の学びに活用しているが、それ以外の生徒は自発的に活用することがなかったと答えている。今後は組織的な取り組みで個別の学びをサポートできる仕組みを構築していきたい。</li> <li>・90%近くの生徒が高校生活でコミュニケーションスキルやセルフコントロールスキルを身につけることができたと感じている。高校の学びの中で自ら考え、行動する力やチームで働く力が身についたと実感し、自信につなげている。</li> <li>・90%以上の生徒が相可高校で成長することができた実感している。</li> </ul>
--	---	--

改善課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の家庭での学習時間が昨年の数値(40.2分)よりも7.2分減少している。クラス間で大きな差があり、それぞれに合った指導を考察し、集中して学習に向かえるよう生活習慣の見直しから始める必要がある。</li> <li>・授業改善を進める必要がある。</li> <li>・一部の生徒ではあるが、遅刻、身だしなみ面で指導が必要である。</li> <li>・体調が悪いにもかかわらず無理して登校し、その後さらに体調が悪くなり早退となる生徒への対応。</li> <li>・自己の進路実現に対する積極性の乏しさ。</li> </ul>
---

(2) 学校運営等

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p>○校内の情報共有や協力体制の強化に取り組めます。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有体制の見直し</li> <li>・校務分掌の見直し</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風通しの良い職場であると感じる職員 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が公務で使用するパソコンが更新されたことにより、おのずと情報共有方法が変更された。</li> <li>・校務分掌の見直しを行った。</li> <li>・ストレスチェックの結果によると上司や同僚からのサポートについては全国平均を上回っている。</li> <li>・必要な情報の共有は37.2%の職員ができていない、どちらかと言えばできていないと感じている。</li> </ul>	◎

<p>研修</p>	<p>○校内研修の実施により、教職員の資質能力を向上させるとともに、同僚性を育みます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域の中・高教員を対象とした授業公開を実施</li> <li>・ICT活用などに関わる研修 2回</li> <li>・教育相談研修 3回開催し、教職員一人1回は参加。</li> <li>・校内人権研修会1回以上、校外人権研修会1回以上参加</li> <li>・コンプライアンス研修 3回</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒実態調査で、「各教科の授業が分かりやすいか。」を問う質問にて肯定的回答が80%以上</li> <li>・校内研修の時期・内容に対する職員満足度80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開 9月実施</li> <li>・ICT活用研修 3回実施しました</li> <li>・教育相談研修 2回実施一人1回参加については達成できなかった。</li> <li>・校内人権研修会全職員が1回以上取り組みました。校外人権研修については、87.5%実施できました。</li> <li>・コンプライアンス研修 全職員3回受講。</li> <li>・「各教科の授業が分かりやすいか。」の質問に対する肯定的回答80%を上回った教科は2教科(特定の学年)のみであった。</li> <li>・校内研修の時期・内容に対する職員満足度は72.5%。</li> </ul>	
<p>情報発信</p>	<p>○本校の特色ある学びを積極的に情報発信します。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新 月2回以上</li> <li>・各機関等への情報提供件数 20件以上</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集定員の充足率 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーなホームページの更新に努めた。また、学校案内パンフレットの見直しを行なうとともに、本校の学びの特色や魅力について、中学校、地域関係者、報道各社等への積極的に情報発信した。</li> <li>・入学者選抜での応募状況は昨年より厳しい状況である。</li> </ul>	<p>※</p>
<p>信頼される学校づくり</p>	<p>○研修や事例研究等を通して、教職員のコンプライアンス意識の向上を図ります。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「信頼される学校であるための行動計画」に沿ったきめ細やかな学校運営に努める。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切事案の発生件数 0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導提要にある「不適切な指導」について校内研修を実施した。指導を行う上で、声の大きさや生徒との距離のとりかたについても気を付ける必要があることを再認識した。</li> </ul>	
<p>働きやすい職場環境づくり</p>	<p>○健康で働きやすい職場環境づくりのために、総勤務時間の縮減に取り組みます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日の定時退校実施率 97%以上</li> <li>・放課後に開催した会議が60分以内の割合 80%以上</li> <li>・行事の見直しや精選</li> <li>・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 90%以上</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数0人(R4年度13人)</li> <li>・時間外在校等時間が月45時間を超える教職員数:0人(R4年度5.67人/月)</li> <li>・1人当たりの月平均時間外労働:8時間以下 (R4年度17.8時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した日に定時退校できた教職員の割合:87%</li> <li>・会議時間60分以内の実施率:70.9%</li> <li>・予定通り休養日を設定できた部活動の割合:98.4%</li> <li>・年360時間を超える人数:18人</li> <li>・月45時間を超える人数:12.3人/月</li> <li>・1人当たりの月平均時間外労働(全職種平均):26.5時間</li> </ul>	<p>※</p>

働きやすい職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりの年間休暇取得日数（12月31日現在）12日以上（R4年度9.16日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりの年間休暇取得日数:9.13日(12月31日現在)</li> <li>部活動休養日の実施以外、いずれの目標も達成できなかった。</li> </ul>
--------------	---	---

### 改善課題

- ・職場内の情報共有。
- ・校内研修の実施時期と内容。
- ・全県的に少子化が進んでいる中での生徒募集。安定的な受験者の確保。
- ・働きやすい職場環境づくりについて、令和4年度実績より後退。

## 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では、職員会議や校内研修は全員参加である。安全面から、会議や研修時に生徒だけで部活動をさせることはない。安全面的にどうなのか。</li> <li>・職員打ち合わせが週1回、かつオンラインということについて、顔を合わせる事が大切ではないのか。細かなニュアンスまで伝わるのか。</li> </ul>
---------------------	--

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の家庭学習時間の増加のため、各教科からの日々の宿題や週末課題の質、量の見直し改善を図る。</li> <li>・「わかりやすい授業」のため、授業改善をテーマに、外部講師による校内研修を実施する。</li> <li>・担任・学年・生徒指導部・教育相談・その他関わりの深い教職員が連携し、声かけや面談を継続的に実施する。その中で、基本的な生活習慣確立の重要性、身だしなみを整えたり、ルールを守ることの意義などについて一緒に考えたりしていく。また「家庭教育」の力を借りるためにも、当該生徒の家庭と情報共有し、学校の考えや取組を理解してもらい、家庭・生徒本人・学校が一緒になって行動の改善(変容)に向け取り組む。</li> <li>・保護者にはすぐー等で朝の健康管理を促す。生徒本人には毎週 Classroom で体調管理について発信しているが、見ている生徒が少ない。全体として Classroom の活用を改善する。</li> <li>・面談の内容を進路に関することに重点を置く。その際模試のデータを活用しながら各自の目標を設定させる。また、全学年、進路に関する情報提供をさらに充実させる。(民間企業の進路教材紹介等)</li> <li>・進路研究を充実させる。</li> </ul>
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teams 等、ICT 機器の機能を駆使し、情報共有をすすめる。</li> <li>・全職員対象の会議や研修時は、部活動は自主練習とし、安全なものに限定する。</li> <li>・校内研修について、実施時期は年度の早い段階に決めておく。内容は職員の希望も聞きながら目的と必要性を十分に精査する。</li> </ul>